

事務事業 No./名称	■サービス部門 経企-24 男女共同参画プラン推進事業 □支援部門						
主管課	文化人権推進課	関連課	人権・男女共同参画施策推進連絡会の構成課				
分野名	男女共同参画社会						
目標 (目標値)	審議会等における女性委員の登用を進め、市の施策・方針決定の場への男女共同参画を推進する。目標は男女いずれか一方の数が総数の10分の4未満とならないこと。						
人口等のデータ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備考		
	人口	177,224人	177,204人	177,161人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯			
運営資源状況	事業の対象者数						
	決算値(千円)	3,700	5,486	3,933			
	(国・県)	665	665				
	(負担金等)	479	34	55			
	(一般財源)	2,556	4,821	3,878			
	人員配置数	1.1	2.0	2.0			
	人件費(千円)	8,813	17,215	17,166			
事務事業運営経費	協働のパートナー	アンサンブル21		アンサンブル21		アンサンブル21	
	総事業費(千円)	12,513	22,701	21,099			
	市民1人当りの経費(円)	71	128	119			
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名⇒	横浜市	藤沢市	逗子市	茅ヶ崎市	横須賀市	三浦市
		35%	42%	40%	40%	30%	30%
		毎年	平成29年度	-	平成27年度	-	平成32年度
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)
審議会等における女性委員登用率を高める	△	目標値	27%	30%	30%	男女いずれか一方の数が総数の10分の4未満とならないこと。	
		実績値	27.80%	31.60%	29.8%	目標達成の審議会の割合 27.8%	
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退							

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止
男女共同参画啓発事業	925千円	①効率性 △ ②妥当性 ○ ③有効性 △ ④公平性 ○		⇒ □A ■B □C □D □E	
	事業の概要	男女共同参画行政の啓発事業として、フォーラム・セミナーの開催、情報誌の発行を行った。			
女性相談事業	2,775千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○		⇒ □A ■B □C □D □E	
	事業の概要	面接・電話による女性相談業務を行った。			
		①効率性   ②妥当性   ③有効性   ④公平性		⇒ □A □B □C □D □E	
		①効率性   ②妥当性   ③有効性   ④公平性		⇒ □A □B □C □D □E	
		①効率性   ②妥当性   ③有効性   ④公平性		⇒ □A □B □C □D □E	

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>審議会等における女性委員の比等の向上を図ること</li> <li>市民・事業者等に対して、男女共同参画社会の理念をさらに周知すること</li> </ul>	
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>男女比が目標に達していない審議会等については、改選時期前に直接所管課に向向き、理解を求めている。</li> <li>女性の視点による災害に関する講座やフォーラムを通して、市民に男女共同参画の理念について一定の理解を深めることができた。</li> </ul>	<b>取組の結果</b> <input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題	審議会等における女性委員の割合は30%弱であり、また、「男女いずれか一方の数が総数の10分の4未満とならないこと」とする目標を達成する審議会等は27.8%にとどまっている。	

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	※□事業完了	
	➡	②妥当性 ○		庁内各課に男女共同参画の理念を浸透させるとともに、市民や事業者に対する周知活動を継続する。あわせて女性相談の充実にも努める。	課長等名	
		③有効性 ○			↓	文化人権推進課長
		④公平性 ○			B	青山 陽子

## (2面) 個別事業の評価

(単位:千円)

小事業名	ザイムコード	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	評価⇒適切=○、要改善=△(1面の評価の視点を参照)			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
男女共同参画啓発事業	主な個別事業	853 男女共同参画推進委員会報酬	184	62	○	○	○	○
		853 専門相談員報酬	40	0	○	○	○	○
		853 男女共同参画啓発イベント講師等謝礼	378	189	○	○	○	○
		853 男女共同参画情報誌「パスポート」製作委託	369	356	○	○	△	○
女性相談事業	主な個別事業	1150 女性相談員報酬	2,776	2,591	○	○	○	○
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							